



冷凍食品共配を拡大

中国陸運 倉庫の収納能力増強

【岡山】中国陸運（西尾義輝社長、広島県廿日市市）では今春から、冷凍食品の共同配送を拡大する。岡山南営業所水島センター（岡山県倉敷市）で4月以降に新規の取り扱いが始まるの

重量ラックを備え、冷凍食品の収納能力がパレット270枚分増強

に備え、同センター内の冷凍庫を2月上旬に増設した。

既設のチルド庫のうち500平方メートルを冷凍庫に改修し、重量ラックを備えた。

これにより、冷凍食品の収納能力がパレット270枚分増強した。一方、改修によって減少したチルド庫の収納能力を補うため、同セ

ンターにある別区画のチルド庫内に4月以降、重量ラックを設置する計画。

顧客からの引き合いとともに新規荷主からの問い合わせが増え、外食向けの冷凍食品の取り扱いが拡大中だ。4月から複数の新たな案件がスタートし、6月に

は増設分を含め同センターの稼働率は100%となる見通し。

西尾社長は「自社便による食品の共配・混載サービスを中国四国地区で提供し、物流インフラを構築しているのが強みとなっている。AI（人工知能）を活用した配車で効率化も高めており、これからも外食の店舗展開をローコストでサポートしていきたい」と話している。

（矢野孝明）